

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	太成学院大学（学部・学科等の課程）				設置者名	学校法人天満学園			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和４年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
人間学部	子ども発達学科初等教育コース	平成25年度	25人	幼一種免	平成24年度	28人	22人	18人	4人
				小一種免	平成24年度			16人	
	健康スポーツ学科	平成25年度	140人	中一種免（保健体育）	平成24年度	105人	35人	31人	12人
				高一種免（保健体育）	平成24年度			35人	
経営学部	現代ビジネス学科	平成10年度	40人	高一種免（情報）	平成9年度	81人	1人	1人	1人
看護学部	看護学科	平成19年度	80人	養教一種免	平成18年度	84人	11人	11人	0人
入学定員合計			285人	合計		298人	69人	112人	17人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和５年４月１日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和5年12月6日（水）実地

実地視察大学：太成学院大学

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等について全般的に基準は満たしているものの、改善が求められる点がいくつかあった。今後は必要な措置を講じ、教員養成の水準の向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教員養成に対する理念・構想を明確にし、教職課程に携わる教職員が学内の理念・構想を理解し、学生に十分な指導ができるよう FD や SD の充実を検討していただきたい。なお、FD や SD を行う際は自己点検・評価を踏まえた内容とすること。
○学校体験活動が授業科目となるよう検討するなど、中央教育審議会の答申に対応しようとしている点を確認できた。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教育研究実施組織

○実務家教員の割合を把握するなど、教職課程の教員の状況等を把握し、今後の教職課程の在り方について検討していただきたい。
○教員職員免許法施行規則第22条の6で教員の業績を公表することになっているが、大学のホームページで公表する教員の業績が外部の研究者データベースサービスのリンクになっており、公表されていることは確認できたものの、大学が責任をもって教員の業績等を把握しているか判然としなかった。適切な教員配置に向け、大学が各教員の業績等を把握し、教員の FD 研修の質向上等に努めていただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○教育実習は大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、大学近隣の学校での実習が望ましいので、引き続き学生を受け入れてもらえるよう近隣の学校と調整を続けていただきたい。
○学校体験活動の授業科目化に向けて、堺市教育委員会等との連携についても引き続き努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○大学の事務職員が主体となり学生の相談窓口を設けている点を確認できた。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○教員採用試験の説明会のみでなく、教育実習や学校ボランティア等による連携の取組について検討いただきたい。教員が属人的に教育委員会と連携が取れていることが確認できたので、そのつながりを活かして大学と教育委員会とが連携を取れるよう検討いただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○教科書や学習指導要領など図書館の蔵書が古く、学生が勉学に励めるような環境整備が十分整っていなかったため、今後最新版の教科書等の購入を検討すること。
○また教職に関する専門書も新しいものが置かれていなかったため、同様に検討すること。

7. その他特記事項

○令和6年度の大学機関別認証評価受審後、教職課程の自己点検・評価を掲載することだが、今回の実地視察を踏まえ、現状の教職課程の問題点等を振り返り、より丁寧な自己点検・評価を行うよう対応していただきたい。